

ビロードキンクロ

Melanitta fusca (Linnaeus)
カモ目・カモ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

稀な冬鳥として飛来するため、今後の動向に注目する必要がある。

分布

冬鳥として九州以北の海上に飛来する。本県では観察例が少なく、敦賀湾、越前町の漁港、小浜湾、高浜町難波江をはじめ、これまで6例程度しかない。

種の特徴

全長 55 cm と大形で、雄は全身が黒く、赤い嘴に黒いこぶ、目の下に白斑を持つ特徴のある顔つきの海ガモで、越冬地では小群で海上生活する。潜水能力がすぐれ、浅い海で貝類等を餌とし、敵の接近時には、飛翔ではなく潜って逃げる。クマガモとよく一緒にいる。

生息を脅かす要因

海洋環境の悪化による餌場環境の消失や船舶から流れる油汚染の影響等が挙げられるが、本県では生態的な情報が少なく、存在を脅かす要因を具体的に言及できない。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1998）、福井県（2002）、高野（2007）、桐原ら（2000）

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○		○	○	○										

クマガモ

Melanitta americana (Swainson)
カモ目・カモ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

稀な冬鳥として飛来するため、今後の動向に注目する必要がある。

分布

冬鳥として、九州以北の海上に渡来する。本県では観察例が少なく、小浜湾や高浜町難波江等で、5例程度しかない。

種の特徴

全長 48 cm の全身が黒く嘴に黄色のこぶがある海ガモで、海上や内湾でみられ、数百羽で群れることもある。餌は浅い海で潜水しながら、主に貝類やエビ類等の小動物を捕らえる。

生息を脅かす要因

海洋環境の悪化による餌場環境の消失や船舶から流れる油汚染の影響等が挙げられるが、本県では生態的な情報が少なく、存在を脅かす要因を具体的に言及できない。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1998）、福井県（2002）、高野（2007）、桐原ら（2000）

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○	○	○	○											

ホオジロガモ

Bucephala clangula (Linnaeus)
カモ目・カモ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内各地の湖や河川等で記録されるが、ガンカモ一斉カウント調査によれば、飛来数は毎年 10 ～ 100 羽までと少なく、今後の動向に注目する必要がある。

分布

冬鳥として全国に飛来する。本県では三方五湖や北潟湖等の湖、河川の中流域～河口部、内湾等でみられるが、群れサイズは小さく、せいぜい 20 羽前後である。

種の特徴

全長 45 cm。雄の頭部は三角形で緑色光沢のある黒、頬に白く丸い斑がある。雌の頭部は、褐色で白い首輪がある。潜水もしくは逆立ち等をして、甲殻類、軟体動物、小魚、水生昆虫等動物性の餌や、水草の種子、根、茎、葉等を食べる。

生息を脅かす要因

越冬地の湖や河川の水質汚濁、水底環境の変化、コンクリート護岸による水辺移行帯の消失等の餌種の減少が挙げられる。また、レジャー等で落ち着いて生息できる環境も少なくなっている。採餌物の再生を含めた環境保全が必要である。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1998）、福井県（2002）、小林、1983、高野（2007）、中村・中村（1995）

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○			○	○	○		○			○		○	○		○	○